

第4回メディカルセミナー開催レポート

3月16日(土)に第4回メディカルセミナーを開催しました。整形外科の竹島憲一郎副医長(国際医療福祉大学 医学部講師)が講師を務め、「ころばぬ先の杖になる話～ひざ関節、股関節の痛みと治療について～」をテーマに講演し、当初に予定した定員を大きく上回る217名の方にご参加いただきました。



竹島 憲一郎 整形外科副医長

非常に多くの方が悩みを抱える腰やひざなどの痛み。

統計では、医療機関の外来受診者数は脊柱障害と関節症を合わせると高血圧症より多く、病院の受診理由としては歯科を除くと実質1位というほど、痛みに悩む方が多いことがわかりました。

講演では最初に、ひざの関節痛について説明。痛みをそのままにすると、どうになってしまうのか。その怖さをデータで紹介しました。変形ひざ関節症、股関節症については、関節の構造と動きを写真と図でわかりやすく解説し、日本人に多い原因やどんな方が痛みやすいのかについても触れました。

治療法については、まず生活指導、薬物療法、運動療法の3つの保存療法があり、それぞれについて竹島医師が説明しました。保存療法の中で最も推奨できる運動療法について、3人の理学療法士が実技しました。椅子に座ったままでできる運動を紹介しましたが、立ち上がって実際にやる方も多く、会場を周って指導する理学療法士に質問をするなど、会場は大いに盛り上がりました。



運動療法を紹介する市木、森居、吉川
理学療法士

続いて手術療法については、関節鏡手術、骨切り術、人工関節置換術のそれぞれの手術時間、入院期間、効果や適応について実際の写真や映像も交えて説明しました。

手術後のケア、骨折の予防については、術前に骨密度測定すること、必要に応じて積極的に処方する数種類の薬剤を紹介し、骨粗鬆症治療の重要性をお伝えしました。

最後に人工関節置換術に関してよくいただく質問について説明、また、個別の質問についても時間のある限りお答えして講演を終えました。

ひざや股関節の痛みでお悩みの方には、整形外科の受診をおすすめします。

○次回は、4月20日(土)10:30～11:30に当院研究棟2階大会議室で

第64回けんこう教室「痛みを抱え込まない生き方をー慢性疼痛を知るー」

講師:志賀 俊哉 麻酔科(ペインクリニック)部長、国際医療福祉大学 医学部教授を予定しています。